

やぶき



平成 29年
177号

議会だより

平成29年11月1日発行
第405回 9月定例会



三神幼稚園わくわく運動会 (9月30日)

28年度決算認定 p2
一般質問 p6 ~ 14

9月議会で決まったこと

平成29年9月定例会は、9月8日から19日までの12日間の会期で開きました。町長提出の29年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件のほか、条例改正1件、道路認定1件、同意1件、諮問1件、平成28年度一般会計決算認定及び特別会計決算認定7件を審議しました。このほか、議会への陳情3件を審議しました。

平成28年度 決算認定

審査結果

認定第1号 平成28年度
矢吹町一般会計歳入歳出
決算認定について

本歳入総額83億9,888万8千8百円に対し、歳出総額81億7,929万1千9百59万7千円、差引き2億1,959万7千円、黒字となり、うち翌年度に繰越すべき財源として1,276万3千円を差し引いた実質2億683万4千円の黒字決算であります。

反対討論

当該当初予算の審議の際にも反対しており、その執行の結果である決算のため、本件に反対する。

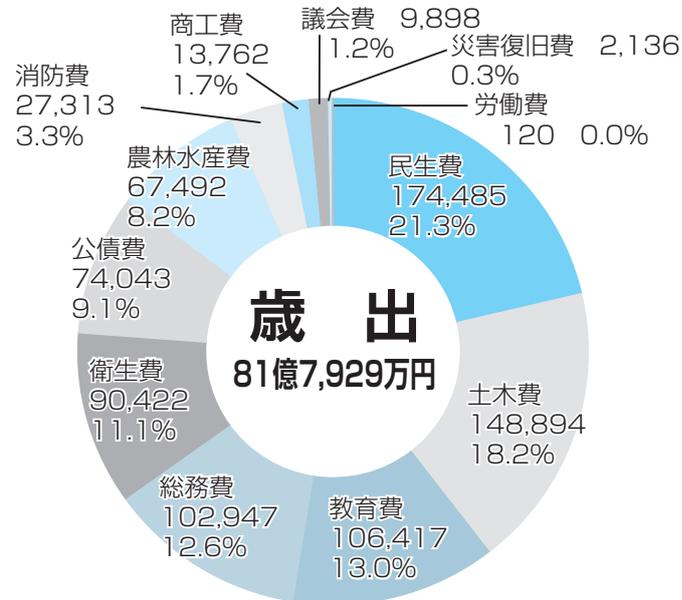
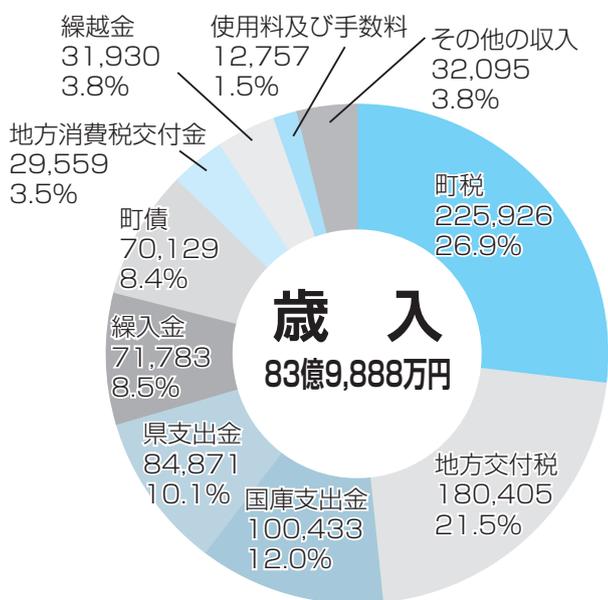
賛成討論

財政健全化にも努め、それぞれの事業の執行に対して適切な歳入歳出がなされていると判断し、本件に賛成する。

挙手採決の結果、賛成多数により、原案のとおり

平成28年度一般会計歳入歳出決算額

単位：万円



予算特別委員会審議内容

り認定すべきものと決しました。

認定第2号 平成28年度
矢吹町国民健康保険特別
会計歳入歳出決算認定に
ついて

歳入総額24億9,888万7千4百円に対し、歳出総額23億4,509万9千円、差引き1億9,436万5千円の黒字決算であります。

反対討論

東日本大震災や消費税率の増加等により町民の厳しい生活が依然と続く中、基金等の活用による保険料の軽減等が図られなかったことから本件に反対する。

賛成討論

人間ドック事業等の予防医療や医療費通知、啓発活動、更にはヘルスアップ事業等を実施し、医療費の抑制と健康増進に取り組んだ中、約1億9千万円の黒字決算で

あったことから本件に賛成する。

認定第3号 平成28年度
矢吹町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
について

歳入総額5億2,203万1千円に対し、歳出総額5億1,739万円で、差引き464万1千円の黒字となり、うち翌年度に繰越すべき財源として364万円を差し引いた実質1,00万1千円の黒字決算であります。

反対討論

東日本大震災や消費税率の増加等により町民の厳しい生活が依然と続く中、下水道使用料の軽減等が図られなかったことから本件に反対する。

賛成討論

黒字決算であったこと、公共下水道の管路延長等、整備改善の成果も踏まえ本件に賛成する。

挙手採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定すべきものと決しました。

認定第5号 平成28年度 矢吹町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入総額2億5,120万1千円に対し、歳出総額2億5,020万円で、差し引き100万1千円の黒字決算であります。

反対討論

東日本大震災や消費税率の増加等により町民の厳しい生活が依然と続く中、農業集落排水使用料の軽減等が図られなかったことから本件に反対する。

賛成討論

当該事業会計は資金不足もなく良好な状態であり、水洗化率も前年度から2.5%伸びていることを考慮し、本件に賛成する。

挙手採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定すべきものと決しました。

認定第6号 平成28年度 矢吹町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入総額13億9,136万2千円に対し、歳出総額13億6,730万2千円で、差し引き2,406万円の黒字決算であります。

反対討論

東日本大震災や消費税率の増加等により町民の厳しい生活が依然と続く中、介護保険料の改定により更に町民への負担が増加している状況で、基

金等の活用による保険料の軽減等が図られなかったことから本件に反対する。

賛成討論

収納率が99.1%と前年度より0.3%向上している一方、給付費は3.4%上昇しており、更には平成28年度末の要介護認定者数が730人という状況下で約2千4百万円の黒字決算であったことを評価し、本件に賛成する。

挙手採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定すべきものと決しました。

認定第8号 平成28年度 矢吹町水道事業会計決算認定について

収益的収支において、収入額4億2,944万2千円に対し、支出額4億1,191万9千円で、1,752万3千円の純利益であります。また資本的収支では、

収入額4,062万9千円に対し、支出額2億4,117万9千円で、差し引き不足する額2億55万円は、当年度消費税調整額と過年度損益留保資金で、補てんする内容であります。

反対討論

東日本大震災や消費税率の増加等により町民の厳しい生活が依然と続く中、水道使用料の軽減等が図られなかったことから本件に反対する。

賛成討論

平成28年度の給水人口が65名ほど減少する中、収益が増加し、工事費、営業費用の縮減を図り約1,750万円の純利益となったこと、資本的収支については不足額が出たものの消費税調整額と過年度損益留保資金で補てん出来たことを踏まえ、本件に賛成する。

挙手採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定すべきものと決しました。

り認定すべきものと決しました。

主な質疑内容

《税務課》

Q 広域圏に移管した人を含めて、延滞金を徴収して滞納者が何人減少したのか。

A 広域圏に移管開始して、滞納者が2,100人から1,700人に減少しました。

《総合窓口課》

Q 平成28年度の事務報告から外国人が15名増えたところ、内訳を教えてください。

A ベトナム人が一番増えているが、建設業者が現地で労働者を集め、町内に住まわせて、仕事をさせている。それでベトナム、タイ、フィリピン人が増えていると思われる。

《産業振興課》

Q 今年度のフロンティ

ア祭りは盛況だったが、集客は何人くらいあったのか。

A 毎年増えている状況で、今年も去年より増えている。警察に対しては1万5千人くらいと伝えております。

《教育振興課》

Q 就学援助費について135名が対象となっているが、援助を受けられない基準はあるのか。

A 貧困家庭の就学援助が100名、被災の就学援助が15名、特殊支援学級に通う子供で特殊教育支援となり20名おります。

《都市整備課》

Q 街灯のLED化について、要望されて未着手のものがあるか。

A 現在200個あり半数をLED化した。今年度の実施予定数は、昨年度の41基より多く予定しています。

予算特別委員会審議内容

平成29年度 補正予算

議案第36号 平成29年度矢吹町一般会計補正予算(第2号)

本案は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1億209万6千円を追加し、総額を73億2,555万3千円とする。とともに、地方債の補正を行うものであります。

反対討論

あゆり温泉の施設改修事業について計画性が明確にされておら

ず、総額7,660万円の費用投資に対し、町民の利益として指定管理料等が下がるような政策に結びつくかどうか曖昧であるため、本件に反対する。

賛成討論

あゆり温泉の施設改修事業や主要町道の整備事業等、町民に必要な予算であるため、本件に賛成する。

挙手採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決しました。



あゆり温泉

◎予算総額 73億2,555万円

○補正額 1億209万円増額

主な補正財源(歳入)

・地方交付税	2,945万円
・国庫支出金	△1,414万円
・県支出金	△222万円
・寄付金	103万円
・繰入金	△984万円
・繰越金	1億3,000万円
・町債	△3,361万円

主な使いみち(歳出)

・移転補償費(道路整備)	1,100万円
・公共施設等整備基金原資積立金	4,140万円
・電算処理システム改修委託料(戸籍住民基本台帳)	405万円
・施設改修工事(健康センター)	1,220万円
・放射線個人線量測定委託料(ガラスバッチ)	△355万円
・公有財産購入費(道路整備土地購入)	696万円
・繰上償還金(元金・補償金)	6,000万円

その他の補正予算

会計別	補正内容	審査結果
議案第37号 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	4,512万円増額	全員賛成により可決
議案第38号 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	21万円増額	全員賛成により可決
議案第39号 水道事業会計補正予算(第1号資本的支出)	300万円増額	全員賛成により可決

主な質疑内容

《企画総務課》

Q. 公共施設等整備基金原資積立金について目標金額はあるのか。

A. 現時点で明確な事業費が出ているのが都市整備課の複合施設で、一般財源の持ち出し分の半分程度をあてたいと考えております。

Q. 繰上償還について2年に1回実施しているが、計画的にやっているのか。

A. 実質交際費比率の推計をもとに時期を見ながら、なるべく低い数値で実施していきたいと考えております。

《保健福祉課》

Q. 老人福祉費のあゆり温泉の工事について、宿泊部屋は当初の計画はどのような内容なのか。

A. 中部屋を区切り8畳間程度で3部屋作る予定です。

Q. 工事費として今回1,100万円計上さ

れているが、どのような工事を行うのか。
A. 今回増額した主な工事の内容は、宿泊施設の各部屋にトイレや水道設備を設けるための給排水設備工事が主なものです。

《産業振興課》

Q. 新酒づくり事業でネーミングの募集をかけて全国から500件ほど集まったと聞いているがどうなのか。

A. 北海道から沖縄まで412件の応募がありました。それらについてこれから決定していく予定です。

《都市整備課》

Q. 事業費で委託料が精査で減額になった分が下水道の改修工事だが、ごこのものか。

A. 減額は工事請負費です。こちらの場所につきましては中町地内の下水道管の取替え、布設替工事を予定している。

議案第34号 矢吹町公園条例及び矢吹町都市公園条例の一部を改正する条例

本件は、矢吹町の三城目、神田、田内の3農村公園及び中町ポケットパークを都市公園として整備を図るもの。又、中町ポケットパークの施設設備の使用料を定めるものであります。

審査の結果、全委員異議なく可決すべきものと決しました。

議案第35号 矢吹町道路線の認定について

本件は、中畑南118番地区の道路を中畑南4号線とするものであります。

審査の結果、全委員異議なく可決すべきものと決しました。

陳情4号 中丸地内の農道について早急な現道舗装についての陳情

現地調査及び審査の結果、全委員異議なく採択すべきものと決しました。

陳情第5号 「全国森林環境税の創設に関する意見書」採択に関する陳情について

本件は、市町村が主体となって実施する森林整備等に必要なる財源を国民に等しく負担を求め、税の創設を求める陳情であります。

審査の結果、全委員異議なく採択すべきものと決しました。

陳情第6号 町道明新原4号線の早急な道路整備についての陳情

現地調査及び審査の結果、全委員異議なく採択すべきものと決しました。

第405回議会（9月）定例会議案 賛否表

○は賛成、×は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決以外は議の表示

9月議会	議案名称等	議員名 可・否	富永	三村	安井	加藤	薄葉	鈴木	青山	大木	栗崎	角田	吉田	藤井	鈴木	熊田	
			創造	正一	敬博	宏樹	好弘	一夫	英樹	義正	千代松	秀明	伸	精七	隆司	宏	
報告	第4号	専決処分の報告について（専決第8号汚水321号本管理設工事請負契約の一部変更について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第34号	矢吹町公園条例及び矢吹町都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第35号	矢吹町道路線の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第36号	平成29年度矢吹町一般会計補正予算（第2号）	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第37号	平成29年度矢吹町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第38号	平成29年度矢吹町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案	第39号	平成29年度矢吹町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第1号	平成28年度矢吹町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議
認定	第2号	平成28年度矢吹町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議
認定	第3号	平成28年度矢吹町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議
認定	第4号	平成28年度矢吹町土地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第5号	平成28年度矢吹町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議
認定	第6号	平成28年度矢吹町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	議
認定	第7号	平成28年度矢吹町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
認定	第8号	平成28年度矢吹町水道事業会計決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議
発議	第5号	全国森林環境税の創設に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

矢吹町議会運営に関する基準の一部を改正する基準

この改正は、9月議会より実施された、一般質問の一问一答方式導入について、基準の改正を行うものです。

追加 (4) 町長等は、一般質問の趣旨や不明の点の確認を行うため、反問することができる。

改正 第81項 一般質問は質問の回数に制限はなく、一議員答弁時間を含め60分以内とする。ただし、初回は質問事項の全部を一括して述べ、再質問からは一问一答とする。

羽鳥幹線水路上部の 粉じん被害対策は

答 苦情・要望等を改良区に伝える



つのだ ひであき
角田 秀明 議員

角田 矢吹ヶ原土地改良区で管理する羽鳥幹線水路上部の利活用及び整備状況について、まだ町道認定が進んでいない道路沿線住民の不便や粉じん被害対策について伺う。この事業に対し、町では18億円を負担し年間8千万円×25年で約19億円の返済をする事も肝に銘じて検討して頂きたい。



羽鳥幹線水路

町政を問う（一般質問）

い。

町長 現在町では、羽鳥幹線水路上部を矢吹大橋から町道本町3号線まで1520mを借地し、町道認定をして整備を図っている。480mが舗装され平成33年度の事業完了に向けて進めている。

質問の本町3号線より郡山方面については、土地改良区で維持管理している。町では沿線住民、行政区等より敷砂利や粉じん対策、道路の補修、排水の処理、除草等についての苦情や要望がなされており、その都度、改良区に伝達、対応をお願いしております。

現時点では、当該路線の町道認定の具体的な予定はないが、現在の認定区間の整備後、管理用道路の利活用について土地改良区と協議を進めたいと考えております。

町営住宅の建て替えは

答 老朽化住宅は取りこわす

角田 古くなり入居されていない住宅、一本木では9棟、大林では32棟、小池では20棟入居せず放置したまま壊さず、借地料を支払っている。将来を見越した安定的な町営住宅の運営はいかに！
収支、滞納状況と対応についてと公共下水道の接続の考え方を伺う。



長屋住宅

町長 大林住宅が10

9戸、大池36戸、小池24戸、大久保8戸、小松70戸、一本木20戸、善郷内24戸で計291戸管理している。その中で大林34戸、小松25戸、一本木9戸の合計68戸が老朽化等により用途廃止及び取り壊しを計画している政策空き家である。借地料は大林が135万円、一本木114万円である。この3カ所の長屋住宅は、耐用年数が超過して老朽化しておりますが、入居者の高齢化や経済的な理由等により転居が困難であり、取り壊しが出来ない状況にあります。

今後入居者の実態を考慮し、丁寧に説明しながら、集約化と政策空き家の整理を行う

てまいります。

利用料の滞納整理解消の為に職員等の増員を含めて対策を講じてまいります。又、これらの長屋住宅については、公共下水道に接続していない。老朽化した建物で、水洗化、水洗便所に改造する費用は莫大な費用が発生する為、費用対効果の部分が厳しいものがあり、今後取組む予定はない。

現在、入居待機者は27名おり、条例により条件を満たした民間住宅入居者12名に対し月額1万5千円を上限に補助している。

その他の質問
・有害鳥獣対策について

農業振興について

〔答〕 国・県と連携して対応

薄葉 今年の夏の異常気象による低温、長雨と日照不足による町内の農作物への影響についてどうとらえているのか。また、来年度から廃止される減反政策に町としてはどのような対応や方策を検討しているのか。今年度に見直しが予定されている町の農業振興地域整備計画は、どのような手順で進めて行くのか。



水田転作の大豆畑

の廃止後については、県から今後の取組方針や進め方により、来年2月予定の説明会に生産数量の目安とともに情報を提供する。

農業振興地域整備計画の見直しについては、総合見直しを進めている。農振区域内の地番地目の一筆調査により現況確認をしている。年度末までに、基礎資料を作成する。なお、後継者不足や耕作放棄地の増加等の情勢を鑑み、農地として守るべき地域は農振地として保持する事を基本としつつ、指定から除外して開発を行うことにより人口増加や町の振興発展につながるかと判断した地域は除外を検討し県と協議したい。

議員 好弘 薄葉

園芸野菜では露地野菜のキュウリ、トマトでは生育不良や炭そ病により、15%から20%の減収が見込まれる。施設野菜でも生育の恐れから収穫量の減収が見込まれている。米については8月15日現在の作況は102、やや良と発表されているが天候により減少が懸念される。

30年以降の減反政策

道路整備等について

〔答〕 国補助事業で7路線を整備

薄葉 今年度の道路整備の実施状況と計画路線の予定についてお伺いを致します。また、道路整備の陳情による未整備路線への敷砂利等の対応について定期的に現状を把握して実施しているのか。町道明新陣ヶ岡線の道路の白線が薄くなっている現状を確認して、交通安全の観点から早急に引き直しをして頂きたい。



センターラインが消えている町道

町長 国庫補助事業で、旧石川街道の道路拡幅歩道整備事業、羽鳥幹線水路上部の八幡町善郷内線、神田西線の歩道整備、新町西線、一本木32号線、西長峰6号線、館沢田内線の7路線で事業を進めている。臨時地方道路整備等で、役場北側の一本木8号線、八幡町11号線、曙町長峰線の3路線、農業基盤整備事業で6路線、生活道路整備の現道舗装で

2路線の整備を予定している。

未整備路線の敷砂利等については、行政区長より要望を頂き、対応している。町道明新陣ヶ岡線の道路白線の引き直しについては、長い路線である為、年次計画により実施したい。

その他の質問

子育て支援について

町政を問う(一般質問)

買い物弱者への対応を



鈴木 一夫 議員

答 新たな支援策を検討する

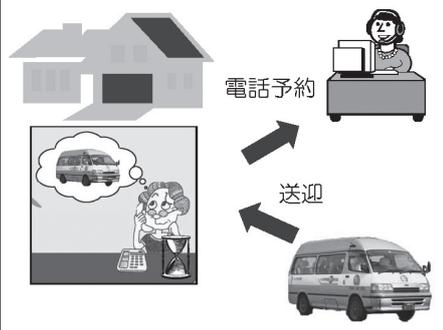
鈴木 高齢化や人口減少で身近な場所にお店がなくなり、一人では買い物さえできなくなる、いわゆる買い物弱者は推定600万人。

当町とりわけ中畑・三神地区は、その日本の縮図であります。

採算性、継続性が最大の障壁ですが、営利と福祉の両領域に跨る他市町村に先駆けた大胆な施策を講じていたきたい。

町長 本町においても、人口減少、少子高齢化の進展により、今後ますます交通弱者の増加が見込まれます

デマンド交通とは
電話予約など利用者のニーズに応じて、柔軟な運行を行う公共交通の一形態



(国土交通省資料より)

町政を問う (一般質問)

中畑地区へ公園整備を

答 国・県の補助に注視し検討する

鈴木 今議会において矢吹町都市公園条例、及び条例改正案が上程された。三城目・神田・田内農村公園が都市公園として移管される等の内容であるが、中畑地区にはそもそも小規模な公園しか存在していない。

少子高齢化が進む中、中畑地区にも設備の整った公園が必要。具体的取り組みをお願いする。

町長 広さが2ヘクタール以下の街区公園は、国の補助等がなく、町単独整備は困難です。

都市計画マスタープランで、中畑地区は集落の拠点として位置づけられ、地域住民の多世代交流を醸成する場として重要であり、公園整備の必要性を認識してはいますが、現在、新たな公園を整備する計画はありません。

子供を含め多世代から強い要望もあり、今後国・県の政策を注視し、国・県と補助等に関する情報交換を密に行い、用地・財源等について検討し、整備の体制を整えます。

鈴木 今議会において矢吹町都市公園条例、及び条例改正案が上程された。三城目・神田・田内農村公園が都市公園として移管される等の内容であるが、中畑地区にはそもそも小規模な公園しか存在していない。

少子高齢化が進む中、中畑地区にも設備の整った公園が必要。具体的取り組みをお願いする。

町長 広さが2ヘクタール以下の街区公園は、国の補助等がなく、町単独整備は困難です。

都市計画マスタープランで、中畑地区は集落の拠点として位置づけられ、地域住民の多世代交流を醸成する場として重要であり、公



中畑地区の公園

道路側溝の堆積物

撤去事業の状況は

答 来年1月より順次行う

鈴木 今年度から、国の支援で撤去が始まっているが、震災以降なかなか手が付けられず、冠水や衛生面等問題が指摘されてきた。①事業の全容・予算・実施計画②事前調査の手法・進捗と結果③撤去した堆積物の最終的処理④今後の国の実施策から見て、当町の一部地域で、すでに行われた側溝の堆積物撤去方法に問題はないか伺う。

町長 ①道路等側溝堆



鈴木 隆司 議員

積物撤去・処理支援を行う福島復興再生加速化交付金実施要項が平成28年12月に制定され、通常の維持管理活動を中断している地域に対し、1回に限り、国からの支援が受けられるため、再開した。実施期間は平成28年度から5カ年。事業費24億5千万円はすべて国の補助。対象の総延長は約6百km。JR線を境に西側を矢吹第一、東側を矢吹第二、中畑、三神の4地区に分け実施。来年1月から3月に矢吹第一の一部、延長43km、推定土砂堆積量約8百mを除去、事業費は約1億1千万円を見込む②すでに矢吹第一地区から10カ所に

ついて放射能等のサンプル調査を行い、1kgあたり1875・8Bqで、環境省基準8千Bqを下回り、一般または産業廃棄物として処理できることを確認した。残りの地区も今年度中に調査を実施し、来年度以降順に除去を行う。

都市整備課長 ③町外的一般処分場に搬出する予定で現在復興庁・県と協議中④空間線量0.23以下のエリアについては除染対象でなく、土砂の撤去について国県の具体的支援がなく、町としても非常に困っていた。

予算編成における若者世代への分配率は

答 最大限に考慮した予算と考える

鈴木 町の将来、未来、持続的継続的發展を考えるうえで、子供や若い世代の存在は極めて大きい。そうした世代への支援や育成策に関して①昨年度決算と今年度予算での若い世代への配分率②予算配分率は十分か、その所感③若者定住策は順調か、その効果④スポーツ等への支援は十分か⑤保育料と学校給食無料化の検討状況を伺う。

町長 ①当初予算における事業費は、平成28年度は総額65億3567万7千円のうち、子ども分野45事業10億9363万6千円で16.7%。平成29年度は総額67億8256万円のうち、子ども分野45事業11億8438万1千円で17.5%です。②重点分野の位置づけ、事業費の前年比から、最大限に考慮した予算額と考えます。③若者

定住支援助成金として、平均年齢40歳以下の夫婦が、10年以上の定住などを条件に、15万円から50万円を助成するもので、過去5年間に合計5千5万円、185件を交付し、非常に有効な事業と考え、今後も継続する考えです。教育長 ④昨年、スポーツ少年団理事会で、活動費の負担が大きいと意見があり、今年度より、各団に1万円の助成をしていますが。また県大会出場は2万円、東北大会以上は5万円を激励金として支援するなどしています。⑤平成19年度から第3子以降の幼稚園・保育園保育料を無償化し、今年度より幼稚園保育料無償化をしています。給食費は学校給食法11条により、保護者に負担をお願いしています。

町政を問う(一般質問)

介護老人福祉施設建設の見通しは



ふじい せいしち 議員
藤井 精七

答 複数の事業者から問い合わせがある

藤井 前回は、残念な結果に終わった、特別養護老人ホームの公募だが、今回も駄目だったら行政の信頼度が下がってしまう。

備えあれば憂いなしというように、公募が不調の場合の手を考えるのも、自治体の役割です。住民の福祉の増進を図るためにも、もしものときの次の一手をどう考えているのか伺う。

町長 平成27年3月策定の矢吹町第6期介護保険事業計画において、開設を予定している特別養護老人ホームについて、広報やぶき



町政を問う（一般質問）

8月号と町ホームページで募集要綱等を掲載し、整備事業者を公募しています。受付期間は10月13日までの1カ月間ですが、現在、申請を予定している複数の事業者から、問い合わせを受けている状況です。

万が一、応募がなかった際は、申請を見送った理由などを、問い合わせのあった事業者などから、聞き取り調査で原因を把握し、町からの助成の必要性などを検討します。また、町による整備も手法の一つとして検討します。

県道須賀川矢吹線

三神幼稚園入口付近の整備を

答 継続して強く要望する

藤井 町の働き、力添えで、歩道の建設も少しずつ進んでいます。が、これまで何度か質問した、三神幼稚園の入り口付近は、なかなか結果が出ないという現状です。町から県への働きかけを強くしていただき、県が誠意と権威を持って、見通しの悪いカーブの解消と歩道建設を実現するよう

に要望してほしいが、町の考えを伺う。

町長 当該箇所については、児童生徒の登下校時に、歩道が未整備のため危険であることは、私自身も認識しており、路線管理者である福島県南建設事務所に対し、継続的な要

望活動を行ってきました。また毎年2回の県南建設事務所主催の連絡調整会議で、町内の県道整備などの要望をしています。当該箇所は、町としても最優先で取り組む必要がある

個所として、毎回強く要望を行っており、今後も継続的に強く要望していきます。

その他の質問事項
・町の子供の貧困の状況について



県道須賀川矢吹線三神幼稚園入口

遺魂し運動とは！

〔答〕次世代に豊かな環境を！

富永 (1) 「遺魂し運動」を推進する自立可能な循環型社会とまちづくりをどのように考えているのか。(2) 自然と共生した環境にやさしい、我がまち農業とその価値をどうまちづくりに活かしているのか。(3) 田舎暮らしを考へて居る人たちの移住へ向けた戦略はあるのか。

町長 「遺魂し運動」とは次世代に豊かな環境を引き継ぐため、「人、モノ、自然」を大切に「遺魂し」の心を活かして、「もったいない精神で自然を大切にし、地球環境保全に貢献するまち」を目指す運動で、ごみ減量化や資源化に関する具体的な事業として、これまで「家庭用生ごみ処理機購入補助事業」、「資源回収奨励金交付事業」、「資源物回収ステーション事業」に取り組みしている。「農業が元気になる」取り組みとして、環境に配慮した農業と付加価値を付けた米の全国販売により農産所得向上を目指している。「農業が元気になるまちづくり」を実践するため、関係機関と連携し様々な研究、実証実験を行い、昔ながらの自然環境に配慮し、自然と共生した、安全、安心で魅力ある

農業を推進してまいります。(3)については体験型の支援策を検討し、遊休農地等の活用を含めた、本町の魅力を直接体験、体感していただくことを予定している。本町の魅力、ポテンシャルを最大限に活用し、タウンプロモーションを図りながら、新たな支援策を検討し、Uターン対策、Iターン対策を含めて、移住、定住希望者のニーズに沿った対策を講じてまいります。



資源回収コンテナ

複合施設の図書館運営は！

〔答〕他の自治体の事例を参考に！

富永 (1) 「生涯学習推進計画」の策定に向け、この計画の目的と方針をあらためて尋ねます。(2) 複合施設の図書館は地域活性化を促すまちづくりの核となりえると思うが、図書館をどのようにしたいのかの検討時間は十分か。(3) 待機児童解消に向けた政府の新計画「子育て安心プラン」をどのように捉えているのか。

町長 「地方公共団体は、図書館、公民館などの社会教育施設の設定、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供によって社会教育の振興に努めなければならぬ」と定めてある。まちづくり総合計画及び教育振興基本計画から生涯学習に関する事業を集約し、個別の計画として「生涯学習推進計画」を策定し、当該計画に基づき、今後の生涯学習に関する施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。(2)については、他の自治体の事例を参考としながら「あたらしい図書館」について協議を行っている。先進事例を参考にしながら、今後、これらの議論を踏まえた「基本計画(案)」により住民説明会を開催し、10月を目途に「基本計画」を策定する予定である。(3)については、「子育て安心プラン」は国として自治体を支援するため、待機児童解消に必要な約22万人分の予算を平成30年度から平成31年度末までの3年間で待機児童を解消するというものである。町としては、国の動向を注視し、町立幼稚園の状況及び利用予測を十分踏まえながら検討してまいります。

その他の質問事項
・ソフト面からの大池公園整備計画について



とみなが 富永 議員
そうぞう 創造

待機児童対策は！



みむら まさいち
三村 正一 議員

答 保育士不足の解消を？

三村 人口減少が続く中で、若者定住促進の為に、子ども・子育て支援に重点を置くべき。

(1) 年度当初から待機児童が発生しているが現況と対策について伺う。(2) 待機児童の解決の為、保育士不足対策として保育士待遇改善費用が予算化されたがその後の進捗状況について伺う。

町長 本町の待機児童数は9月1日では21人となっている年度当初の待機児童発生は、前年と比較すると就労を事由とする申請の増加が大きな要因と考えている。待機児童解消の対策については、これまで限りある財政状況の中、事業の見直しや国県等の支援により財源を捻出し待機児童の解消のため、保育士の確保や保育室の増設、保育園の園舎増築などに取り組んで来た。(2)

町政を問う(一般質問)

あゆり温泉のサウナ設置について！

答 地域福祉基金で対応

三村 あゆり温泉のサウナ、お試し宿泊施設改修は6月に5930万円で決定したが、今回更に1730万円の増額補正が計上された。

点整備交付金」の交付申請にあたって、限られた期間の中での概算設計となり、十分な積算ができず、今回、現地を詳細に確認したところにより判明したものである。(2)について今回の補正増額の費用について、交付金の増額は見込めないことから「地域福祉基金」の活用により財源を確保する予算となっている。

できればというふうに思っている。今後はこうしたことができるだけ発生しないように注意してまいりたいと考えている。

町長 (1) について増額の主な要因としては、高圧受変電設備の設置に伴う解体箇所が増加及び電気幹線の見直し、外壁の一部に排煙窓等の設置、排水設備の公共樹への接続などの費用となっている。要因は、「地方創生拠

その他の質問事項
・水道料金の徴収方法
について質問

町長 (1) について増額の主な要因としては、高圧受変電設備の設置に伴う解体箇所が増加及び電気幹線の見直し、外壁の一部に排煙窓等の設置、排水設備の公共樹への接続などの費用となっている。要因は、「地方創生拠

点整備交付金」の交付申請にあたって、限られた期間の中での概算設計となり、十分な積算ができず、今回、現地を詳細に確認したところにより判明したものである。(2)について今回の補正増額の費用について、交付金の増額は見込めないことから「地域福祉基金」の活用により財源を確保する予算となっている。



あゆり温泉

来年度からの国保税の見直しと軽減策は

〔答〕 県と協議を重ねて推移を見守る

安井 9月4日の第2回県国民健康保険運営会議では、国保の県移管にあたって、国保税の資産割を廃止していく方針が示された。

県移管後も国保料は市町村で決定できるので、固定資産税との二重取りとの批判もある資産割は、来年度からでも廃止し、国保料の軽減を図るべきではないか。

町長 平成30年4月の国民健康保険事業の

制度移行に向け、「納付金・保険料総額・標準保険料率」の内容が市町村に提示されたが、市町村が実際に賦課する保険料額をあらわすものではなく、県では協議をすすめながら、「来年2月に一本算定の確定結果」が町に通知される予定です。町では、新制度移行にむけた準備を進めながら県の会議等の推移をみまもり、適正な保険料となるよう、県と協議を重ねます。軽減制度によつて軽減された保険税は国からの財政調整交付金の対象となりますが、町が独自に軽減を実施した場合は、軽減対象とならない納税者との公平性の確保という観点から、町独自の軽減は行っていません。

矢吹町国民健康保険税率（現在）

	40歳未満	40歳以上65歳未満
所得割	8.80%	11.20%
資産割	30.0%	32.98%
均等割額	27,600円	36,400円
平等割額	34,800円	40,000円

滝八幡公園を復旧し、危険な現状の解決を

〔答〕 地権者に改善の要請、継続的に交渉を重ねる

安井 滝八幡公園に隣接する宅地の擁壁が傾き、公園が使用不能となり、危険な状態が続いている。

土地所有者の方の事情で、復旧が進まないのであれば、町が是正措置命令を出し、それでも解決しないようであれば、行政代執行を行い、早期の復旧を図るべきではないか。

町長 公園管理者として大変危険な状況であることは十分に認識しています。地権者は、以前同様、復旧費用が高額なため、資金繰りがつかず、予定がたたない状況であるとのこと。

とです。町としても、問題解決に向けた最前の策を講ずるために、顧問弁護士と対応について相談を行っています。

今後、土地所有者に対して、危険な状況の改善を要請すると共に、法的手段についても、行政代執行等の具体的な手続き日数、費用回収の見込み等の現実性も踏まえ、一定の方向性を示し、継続的に交渉を重ねてまいります。

その他の質問事項
・ 応急仮設住宅の無償譲渡活用について



滝八幡公園

やすい 安井 たかひろ 敬博 議員

軽減制度によつて軽減された保険税は国からの財政調整交付金の対象となりますが、町が独自に軽減を実施した場合は、軽減対象とならない納税者との公



あおやま ひでき
青山 英樹 議員

「健全」とは、建前(けんぜん)のこと？

答 長期的視野に立った健全な 財政運営に取り組む

青山 当町財政の特徴は、人件費の割合は最も低く、公債費、借金返済が最も高いのが顕著に示されている。また借金せずに、経常収支比率90%超もの切迫した財政の中、老人福祉あるいは児童福祉を強化する市町村がある。当町は真逆である。これでも当町は建前(けんぜん)なのか。

町長 平成28年度一般会計決算の実質収支は約2億600万円です。この実質収支が地方公共団体の財政運営の良否を判断する重要なポイントであり、一般的に黒字団体・赤字団体とは実質収支を用いることから、正に適切な財政運営がなされているものと認識しています。

町政を問う(一般質問)

は、財政規模の10%とされており、平成28年度の適正規模は4億5千万円程度、平成29年3月末現在の基金は約9億5千万円で、適正規模を超える額を確保しています。

実質単年度収支は平成25年はプラス、26年から28年度はマイナスです。その要因は、当該年度において単に財源不足が生じているということではなく、前年度からの繰越金を財源に、各種事業に積極的に取り組んだことによるものです。

一般会計地方債残高約84億円のうち、約30億円は交付税措置のある臨時財政対策債であり、財源に対する措置が明確化されている。実質公債費比率の健全化判断比率の安定推移を目指します。

特段高い水道料金、それでも赤字？

答 県内では中位、安定的経営を目指す

青山 他市町村と比べて、当町の水道料金は特段高い、と転入者が驚く。町の説明では20mでの水道使用料を、県内では中位という。しかし、20mは非現実的な使用料で生活感に欠けた説明である。特段高いと言われる水道料による近年の事業会計は、黒字なのか赤字なのか。

町長 他自治体との料金差の要因は、良好な水の確保、水源開発や浄水施設等への設備投資額によるもの。本町は、堀川ダムからの受水を開始する以前は、水源を多数の井戸に頼っていたため、水質、水量が不安定で、濁り水の苦情が多く寄せられていましたが、堀川ダムからの受水により解消されています。また、各自治体と

もに不足する水量を自己水源により賄っていますので、受水比率等も水道料金への影響が大きい要素です。(表1) 1) 水道事業の過去5年間の経営状況は(表2)となっています。今後も、安全で安心できる水道水の供給と施設の適切な管理維持による経費節減、経営の健全化に努めます。

県内各自治体水道料金比較(表1)

※1か月当たり20m使用した場合

順位	自治体	水道料金
1	A 市	4,860円
2	B 町	4,730円
3	C 町	4,519円
7	D 町	4,386円
18	E 町	3,798円
19	矢吹町	3,780円
24	F 村	3,618円

(平成28年4月現在)

上水道事業経営状況(表2)

平成	収入-支出(千円)	主な理由等
24	33,729	黒字、震災後、給水収益の回復
25	-9,742	赤字、一般会計からの繰出金の減少
26	-9,555	赤字
27	-6,592	赤字、一般会計からの繰出金の減少
28	17,523	黒字、一般会計からの繰出金の増加

議会運営委員会の活動

調査にあたった委員

委員長	鈴木 一夫
副委員長	角田 秀明
委員	吉田 伸
	薄葉 好弘
	安井 敬博
	富永 創造

内容
 平成29年7月19日
 群馬県東吾妻町議会の議
 会活性化への取組として
 いる「自由討議の導入」
 や「一問一答方式」そし
 て、「議会報告会」等の
 事例を調査してきまし
 た。



東吾妻町議会での意見の交換

人事案内

同意第13号
 教育委員会委員の任命に同意を求め
 る
 全員賛成で同意



教育委員会委員

藤井 義男 (再任)

住 所 矢吹町神田
 生年月日 昭和26年8月27日生
 任 期 平成29年10月1日から
 平成33年9月30日まで



人権擁護委員

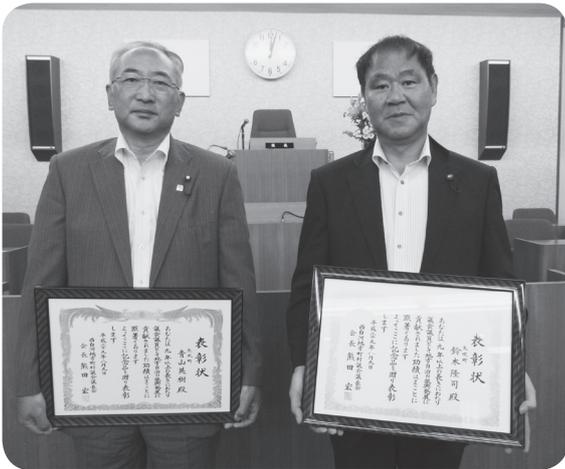
赤城 恵子 (再任)

住 所 矢吹町小松
 生年月日 昭和31年1月17日生
 任 期 平成30年1月1日から
 平成32年12月31日まで

諮問第1号
 人権擁護委員の推薦につき意見を求める
 全員賛成で同意

9年以上の在職

17年以上の在職



青山 英樹 鈴木 隆司



角田秀明 栗崎千代松 熊田 宏

西白河地方町村議会議長会から自治功
 労者として、17年以上の在職3名、9年
 以上の在職2名が表彰されました。

次回議会のご案内

●6月議会傍聴者は24名でした。ありがとうございました。

12月定例会

12月1日(金)
 午前10時開会

一般質問

12月4日(月)
 5日(火) 予定

議会傍聴はどなたでもできます。

申込みは不要です。直接役場3階議場へおいでください。
 詳しくは町議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0248-42-2118

E-Mail : gikai@town.yabuki.fukushima.jp

みんなのひろば

選挙権について



福島県立光南高校

柏村 郁未
(平鉢)

高校生活で一番力を入れてきた部活動の野球もベスト8までしか行けなかったけれど、本当にいいチームメイトに恵まれて充実した時間を過ごす事ができました。野球部の中でも指導者がいて、自分達をまとめたり、引っぱっていつてくれるキャプテンを自分達で選んで一つの目標に向かって進んでこれたように、先頭をきる人が必要な事は部活動を通して学びました。

今年、自分も18才になると同時に選挙権と言う権利を持つことができるので社会に出る第一歩として政治にも関心を持ちたい。
10月22日に国政選挙が行われることになりました。
住みよい町づくりや国づくりの先頭に立つにふさわしい人を選んで投票しようと思っています。

議会懇談会開催のお知らせ

と き 11月21日(火) 午後7時から午後9時

ところ 文化センター小ホール

町議会では、議会の活動や審議内容等を町民の皆さんに知っていただき、ご意見やご提言を今後の議会活動や町づくりに反映させて行きたいと考え、議会懇談会を開催いたします。

平成28年度の決算認定、平成29年度補正予算及び条例改正等を議決した9月定例会の報告です。

また、町議会、町に対するご意見やご提案等についても意見交換をさせていただきたいと思っております。

多くの町民の皆さんの参加をお待ちしております

編集後記

3月定例会と6月定例会の試行を経て、9月定例会からは正式に「問一答方式」に移行しました。一般質問の質問と答弁が傍聴している町民の皆さんにも分かりやすくなりました。

議会へ傍聴に来ていただき、そして議会が町民の近くへ出向き報告をする「議会報告会」も「議会懇談会」に改めて議会の活性化に努めています。

議会だよりも、読んでいただく方々にしっかりと伝わる編集を目指して努力して行きます。
(文責 栗崎)

議会広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 栗崎千代松 |
| 副委員長 | 三村 正一 |
| 委員 | 角田 秀明 |
| 委員 | 薄葉 好弘 |
| 委員 | 安井 敬博 |
| 委員 | 富永 創造 |